

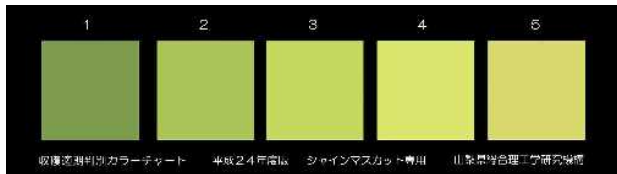
ブドウ「シャインマスカット」の 収穫時期拡大に有効な果実袋利用法

【背景・目的・成果】甘味や香りが強く、皮ごと食べることができる「シャインマスカット」は、果皮の着色に日照を要しない黄緑色品種で、樹上での日持ち性も優れます。そこで、色(遮光率)の異なる果実袋を被覆することで、成熟のスピードをコントロールすることにより、収穫、販売時期の拡大が可能なることを明らかにしました。



シャインマスカットの果房

左:販売適期(カラーチャート値3程度)
右:成熟進み黄色化(生理障害が発生しやすい)



シャインマスカットの果皮色の推移
(山梨県工技セ作成カラーチャート)
成熟につれ左(1)から右(5)に変化



使用した果実袋:
左から
白(慣行)
青
緑
青緑

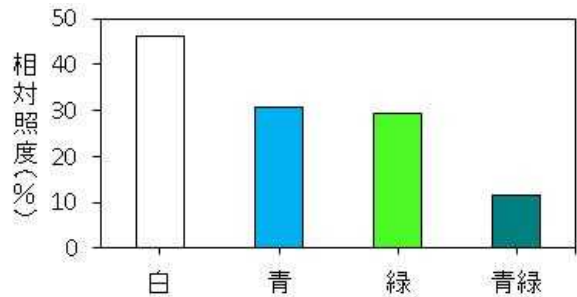


図1 袋内の相対照度

果実袋内の相対照度(遮るものがない条件が100%)は、白に対して青、緑がやや低く、青緑はさらに低かったです。

果皮色と糖度の推移

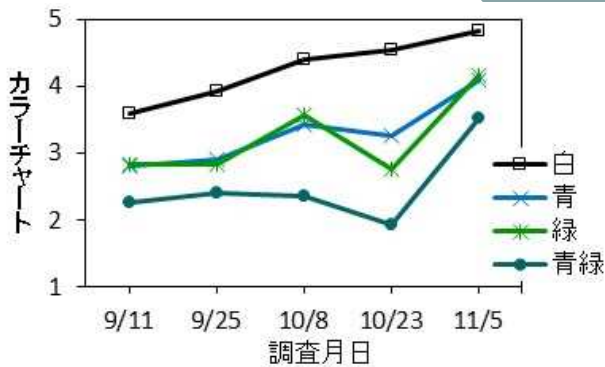


図2 果皮色の推移

果皮色のカラーチャート値は、調査期間中いずれの袋もおおむね上昇する傾向を示し、袋の種類では白が最も高く、9月下旬には3を超えました。次いで、青と緑は9月下旬まで、青緑は10月下旬までは3程度に果皮色の進行を抑えられました。

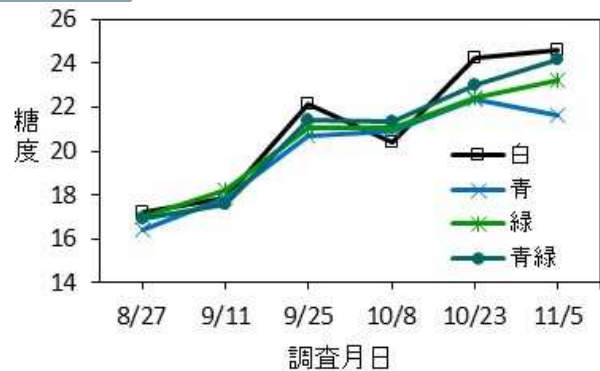


図3 糖度の推移

糖度は、9月中旬にはすべての袋で18程度に達した後、11月上旬まで上昇しました。袋の種類では白が比較的高い傾向でした。なお、酸含量は、8月下旬には0.6%以下になり、さらに9月中旬まで大きく低下し、袋の種類では白がやや低い傾向でした(図略)。

【技術の活用】果実袋の色は「シャインマスカット」の成熟期に影響します。果皮色から判断すると、供試した袋では8月下旬の早期収穫を目指す場合は白、9月収穫は青か緑、さらに10月収穫には青緑が適します。なお、棚上の副梢葉数が多いと成熟期は遅れる傾向があります。